（五）前項三會社以外の精糖場は之を買上げず、唯精糖操作に專用したる器具・機械類に限り之を買上ぐ。但し專賣施行以後に設置したるものは此の限に非ず。

（六）專賣施行以前の精糖業者に對しては、前二項に依り其の財產又は器具・機械類を買上ぐるの外營業權の補償として最近所得年額の二倍を交付す。但し買上代及交付金の爲國庫債券を發行し、額面金額を以て交付す。

（七）內國糖の賠償金額は從來の市場價格より稅金を控除したるもの及生產費を參酌して之を定む。

（八）外國糖の購入金額は輸入價格より關稅及消費稅を控除したるものを參酌して之を定む。但し右は豫算上の價格に過ぎずして、實際價格は輸入當時の相場に依るべきは勿論なり。

（九）賣下價格は現在の市場相場を限度として之を定む。

（十）賣下方法は全國主要地に約十八箇所の販賣所を設置し、各收納所又は製造所より販賣所まで政府の費用を以て回送し、全國一樣の價格を以て之を賣下ぐ。

（十一）小賣に付ては元賣捌人及小賣人の免許を與へ、制限額以內の價格を以て販賣せしむ。

（十二）外國輸出糖及酒精原料糖は特別低價を以て之を賣下ぐ。

（十三）右專賣の中央機關として東京に本局を置く。但し地方に在ては三會社及其の他主產地（神繩・大島・香川・臺灣）に特設糖務局を置き、其の他は稅務署又は鹽務局出張所をして之を兼ねしめ、出張所は主要地に特設し、其の他は稅務監督局をして之を兼ねしむ。

（十四）內國糖收納の爲各主要產地には倉庫を設け持參納付せしむ。但し遠隔又は交通不便の地にして其の產額少きときは、鹽專賣の例に倣ひ現場賣買を爲さしむ。

（十五）本計畫の基礎たる砂糖に關する各數量及其の他の計數は、概して三十七年前三箇年の平均額に依る。

（十六）專賣資金は全部公債に依るものとす。其の總額左の如し。

| | | |
|---|---|---|
| イ　事業準備費 | | 一六六、七七三圓 |
| ロ　建物準備費 | | 四、三一八、三〇六 |
| 內 | | |
| 敷地購買費 | | 七八四、六三八 |
| 建築費 | | 三、二二九、五一五 |
| 事務費 | | 三〇四、一五三 |
| ハ　精糖場財產買收費 | | 五、五〇四、二二九 |
| ニ　營業權補償金 | | 六、六六六、二三六 |
| 計 | | 一六、六五五、五四四 |
| 內 | | |
| 公債額面にて交付する分 | | 一二、一七〇、四六五（買收費補償金） |
| 現金にて支拂ふ分 | | 四、四八五、〇七九（準備費） |
| 但し現金支拂の分は手取九十圓の割合にて五分利付公債を發行す | | |
| 此の額面 | | 四、九八三、四二二圓 |

公債額面總計

（十七）經常費收支の計表左の如し。

| | | |
|---|---|---|
| 收入總額 | | 一七、一五三、八八七圓 |
| 內 | | |
| イ | 消費糖賣下代金 | 五六、〇六七、九〇三 |
| ロ | 輸出糖賣下代金 | 五五、三七六、七三六（四五二、〇七五、五四二斤） |
| ハ | 酒精原料糖賣下代金 | 六八四、二四三（九、八七八、二〇八） |
| 支出總額 | | 六、九二四（一一五、四一六） |
| 內 | | 二九、四六四、二五八 |
| イ | 內地粗糖買收金 | 一、四〇四、五三二（二一、六五四、〇五一） |
| ロ | 島嶼粗糖買收金 | 二、八七二、八四八（六三、八三五、一九五） |
| ハ | 臺灣粗糖買收金 | 三六三一、七〇〇（八四、四八七、一八六） |
| ニ | 外國糖購入代金 | 一七、六一七、九一六（三〇五、五五六、一七五） |
| ホ | 本省經費 | 三四、五三五 |
| ヘ | 收納所經費 | 四六二、七四五 |
| ト | 製造場經費 | 一、〇九九、八六七 |
| チ | 貯藏及販賣所經費 | 一二三、五九一 |
| リ | 回送費 | 二、二一六、五二四 |

收支差引殘額　二六、六〇三、六四五

內

イ　公債の利子　八五七、六九四

ロ　機械建物減價償却金　二六二、〇一二

收支差引專賣純益金　二五、四八三、九三九

（十八）專賣益金と稅金との比較

| | | |
|---|---|---|
| 專賣益金 | | 二五、四八三、九三九圓 |
| 稅金實收入 | | 二一、五九四、九〇二 |
| 內 | | |
| イ | 消費稅 | 一九、四八二、四四二 |
| 內 | | |
| | 徵稅費 | 一〇〇、〇〇〇 |
| | 實收入 | 一九、三八二、四四二 |
| ロ | 關稅 | 四、〇一四、八四八 |
| 內 | | |
| | 戾稅 | 二、〇三二、三八八 |
| | 實收入 | 一、九八二、四六〇 |
| ハ | 營業稅及所得稅 | 二三〇、〇〇〇 |

附錄第二　酒類及砂糖專賣に關する調査

差引　三、八八九、〇三七圓

專賣益金の超過額

委員會は右の計畫を基礎として砂糖專賣の可否を審議したり。委員中之を否とする論者の說に曰く、

（一）民間の事業を奪ひ政府の事業と爲すには、政府に於て經營するに非ざれば豫期の目的を達する能はざる特殊の事情の存在する場合ならざるべからず。然るに砂糖に就て之を見るに、

（イ）官業と爲すに非ざれば製造の改良發達を期する能はずと云ふが如き事情存することなし。東京・大阪門司の三精糖會社は比較的規模宏大、設備完全にして銳意其の改良發達を企圖せり。故に政府事業と爲すも顯著なる成績を擧ぐるを期し難し。

（ロ）官業と爲すに非ざれば生產費を節約し、價格を低廉ならしむる能はずと云ふが如き事情存することなし。目下製糖會社の主なるものは三箇あるのみにして、多數の製造場を合同整理する等の必要を見ず。故に今之を官業と爲すも生產費を著しく節約するの希望なし。

（ハ）官業と爲すに非ざれば犯則脫稅を防止する能はずと云ふが如き事情存することなし。製糖會社は前記の如く少數なるが故に、犯則取締比較的周密なるを得べきが故に、脫稅防止の目的の爲に官業と爲すの要を見ず。

（ニ）官業と爲すに非ざれば既設會社の利益獨占を制限する能はずと云ふが如き事情存することなし。若し其の弊ありとせば他の方法を以て之を矯正することを得べく、必ずしも官業たらしむるを要せず。

（ホ）官業と爲すに非ざれば國庫の收入を增加する能はずと云ふが如き事情存することなし。收入を增加せんとせば稅率を增加するも可なり。況や官業と爲すが爲に增加する收入大なるに於てをや。

（二）精糖業を官業と爲すときは外國粗糖を原料に使用せずして、內國粗糖を原料に使用することを得べきが故に、一方外國粗糖の輸入を防ぐと共に、他方內國糖業の發達を期することを得べきが如しと雖、收入を目的とする專賣制の下に於ては大に其の望を竭する能はざるべし。何となれば若し內國粗糖を原料に使用するものとせば、精糖の生產費多額に上り、從て精糖賣下價格を高めざるべからず。賣下價格を高むる結果は一般消費者に重き負擔を課せざらんとせば、專賣收入は大に減少するに至るべければなり。若し一般消費者に重き負擔を課することとなるべくんとせば、專賣收入は大に減少するに至るべければなり。

（三）精糖業を民間營業と爲すこと現行法の如くなる場合に於ては、營業者は淸韓地方へ精糖を輸出して大に國產を增加するの機會あるべしと雖、若し之を政府事業と爲すときは素と收入を目的とするものなるを以て、私人經濟に於けるが如く內地の利益を拋つて外國に競爭を試み販路を擴張する如き商略を施す能はず、從て海外輸出の繁榮を期すること甚だ困難なるべし。

（四）砂糖專賣否認の理由敍上の如くなるのみならず、專賣には性質上の弊害の之に伴ふものあり。加ふるに之に依り得る所の歲入增加額は、現行消費稅に比し三百八十餘萬圓に過ぎざるが故に特に之を專賣と爲して增收を計るべき財源に非ず。若し夫れ專賣資金たる千七百餘萬圓の公債を永遠公債と爲さざる限り、每年之が償還額をも計上せざるべからざるものとせば、專賣制に依る財政上の利益は頗る微々たるものなるべし。

委員會は大體に於て此の否認說を容れ、現今の狀態に於ては砂糖專賣は財政上經濟上何れの點より觀察するも、之を採用すべき理由薄弱なりと認めたり。

### （ロ）臨時財政經濟調査會稅制整理特別委員會附議

砂糖を政府の專賣と爲し、之に依り一面財政上收入增加を圖ると共に、他方に於て食料政策上其の市場價格を適當に調節することも亦研究を要する一案なり。然れども其の可否を論ずるに當りては、先以て如何なる方法に依り專賣を實行すべきやを研究するを要す。仍て我國に於て比較的施行し易しと認むる二三の案に就き、以下各其の計畫の大樣を揭げ、然る後其の得失に付研究する所あるべし。

**第一案**（本案は內地を目的としたるものにして、臺灣・朝鮮等に於ては專賣を施行すると否とを問はざるものとす）

（一）粗糖（和蘭標本色相第十八號未滿の砂糖）に限り免許を與へて民間に製造せしめ、其の全部を政府に買上げ、而して其の一部は消費用として其の儘賣下げ、一部は政府自ら之を精製して賣下ぐること。

（二）內地に必要なる砂糖に付ては臺灣又は朝鮮より之を購買すること。

（三）外國糖は砂糖の內地又は臺灣等の產額と輸出の狀況とに鑑み、必要に應じて粗糖に限り之を輸入し、一部は其の儘消費用として賣下げ、一部は之を精製して賣下ぐること。但し將來は外國輸入糖に相當する數量を臺灣に於て生產せしむる方針を採ること。

（四）政府は官營精糖工場に充用する爲、內地に於ける現在の十三箇の精糖工場を買上ぐること。但し專賣施行前一年以內に工場を設置したるものは除外すること。

（五）買上を爲す精製糖工場主に對しては、其の工場及設備を買上ぐるの外、營業補償金として最近三箇年の賣上金額の平均一箇年分の二割を交付すること。右代金として國債を發行し、額面百圓に付九十五圓の割合を以て計算交付すること。

（六）砂糖の卸賣業者に對しては專賣の實施後成るべく元賣捌人に指定し、從て此等に對しては失業交付金を交付せざること。但し其の指定を受けざる者に對しては、失業交付金として前項に準じ算出したる一箇年卸賣代金の一割を交付すること。

（七）粗糖の買上及購買金額は、內地・臺灣分共各其の生產費に百分の十の利益を加へたるものとすること。

（八）少くとも專賣施行の際は砂糖の市場價格を騰貴せしめざることを目的とし、政府の賣下價格は最近の市場卸賣價格を標準とすること。但し元賣捌人に賣渡す價格は其の手數料として百分の五を控除すること。

（九）輸出糖移出糖及酒精又は煉乳の原料となるべき砂糖は、前號の價格より現行消費稅相當額を控除したる特別定價を以て賣下ぐること。

（十）賣下に付ては現在の地方專賣局・其の出張所及新設出張所等に於て、大體全國一樣の價格を以て元賣捌人に賣渡すこと。尙砂糖の製造地又は移入地より此等販賣官署迄送付する運賃は政府に於て支辨すること。

（十一）專賣官署以外の賣捌機關として元賣捌人及小賣人を指定すること。而して其の販賣價格に付ては一定の制限を附し、全國大體同一なることを期すること。

（十二）砂糖專賣制度施行に付ては現在の各專賣官署を利用し、又現在の精製糖工場は大體其の儘之を使用すべきも、執務上已むを得ざるものに付ては相當の官署を新設すること。

（十三）砂糖買上及販賣の爲特に主要なる地點に限り倉庫上屋を設くるものとす。而して其の他の地方に在りては、少くとも當分の間は成るべく民間の倉庫を利用すること。

本案を可とする事由

（一）專賣に因り相當の歳入增加を圖り得べきこと。

砂糖は生活上の日用品にして其の數量は逐年多額に上るべく、殊に製糖業は從來民間事業として相當利益あるものなるが故に、之を專賣と爲すことに因り政府は相當の歳入增加を圖ることを得べし。

（二）砂糖の價格を統一し且適當に之を調節し得べきこと。

專賣に依りて全國的に砂糖の價格を統一し、且必要に應じて適當に其の賣下價格を定むることを得べきが故に、從來の如く糖業會社の聯合協定等に因り不自然なる市場價格を現出するが如きトラスト的弊害を除去することを得べし。

（三）生產費を節約し得べきこと。

製糖業を官營となし各精糖工場を統一的に經營し得る結果、生產費の節約を期することを得べし。殊に會社幹部の俸給賞與の如き然り。

（四）帝國内に於ける粗製糖業者の發達を助成するべく帝國内の產糖、主として臺灣糖を使用し、從來砂糖官營後に於ては精製糖の原料として成るべく帝國内の產糖を使用すること。

（五）製糖事業を堅實ならしめ、且從來の精製糖會社の企業資金は之を他の確實なる事業に轉用し得べきこと。製糖業は民業として從來相當の收益を擧げ居るも、外國糖の壓迫等に依り消長あるを免れず。之を政府の專賣と爲すときは事業比較的堅實となると同時に、從來の企業者は相當額の交付金を得、安んじて他の確實なる事業に轉じ得べし。

本案を否とする事由

（一）專賣に因る歳入の增加は比較的多大ならず、一方には國債負擔を增加すること。

砂糖專賣の主たる目的は之に依り國庫歳入の增加を圖らむとすることを言を俟たず。而して專賣に因る歳入の增加額は主として砂糖賣下價格の決定如何に因ること勿論なりと雖も、我國に於ける砂糖の稅率及價格は今日に於ても既に相當高價に達し居るが故に、更に專賣に因り市價を昂騰せしむることは生活の安定を妨ぐるものにして、實行困難なりと認む。從て歳入の增加は比較的多大ならずして、一方には多額の國債負擔を增加するに至るべし。

（二）精製糖の製造を官營とするも、生產費の節約は多きを望むことを得ざること。

精製糖の製糖工場は内外市場に於ける砂糖の需要事情に應じ、一箇年の内數箇月間の作業を爲すに過ぎざるを普通とす。然れども民營に於ては共の休業中職工勞役者の大部分を便宜他の職に就かしめ得るの便ありと雖も、之を官營とするときは此の如き便法を實行すること至難なるべきを以て、比較的多くの人件費を要すべきのみならず、政府事業は會計法の束縛其の他監督又は統計等の必要に依り、民業以外に人員を要することあるを以て、之が生產費の節約は多きを

望むことを得ざるべし。

(三)　專賣に因り重要なる民業を奪ふに至るべきこと。

製糖事業は我國に於ける重要なる事業の一にして、既往に於て各製糖會社は相當の利益を擧げ居れり。是れ卽ち專賣を行ふべしとの議ある所以なるべしと雖も、既に鐵道國有に依て鐵道業を國家の獨占と爲し、煙草及鹽をも專賣と爲したる上、更に製糖業を政府の獨占となすときは、民間事業を減縮すること頗る大なるべしとの議を免れざるべし。

(四)　專賣は砂糖輸出貿易に不便なること。

今や帝國の砂糖生產高は甘蔗作付の豐作なる年に於ては、優に帝國內の消費を充して過剩糖を輸出し得るに至り、且年々生產の增加を見るの趨勢に在り、又內地產糖の外、外國糖を輸入精製して、支那·南洋其の他の方面に每年約一億六七千萬斤の多額なる輸出を爲しつつありて、實に我國に於ける有望なる輸出貿易品の一となれり。然るに若し專賣制度を施行するに至らば、海外市場に於ける砂糖價格の騰落に應じて時々敏捷に其の賣下價格を變更し、若は先物契約等を爲すこと最も困難なるべければ、民間經營に於けるが如く機宜の處置を採り、巧に外國品との競爭を試み、以て販路の擴張を圖るが如き商略を施すこと能はず、延て輸出の增進を期すること困難なるものあるべし。加之一步を進めて考ふれば、政府專賣の後は或は輸出を斷念するの外なかるべし。

(五)　砂糖の官營を理想的に徹底せしめむには粗糖の製造までも官營と爲すを要すべきこと。

專賣を理想的に實行し、砂糖生產費の節約を計り、消費に對する取締を周到にし、以て收入の增大を期せむが爲には、黑糖其の他の含蜜糖及分蜜粗糖の製造迄も之を官營と爲すにあらざれば完全に其の目的を達成すること能はざるべし。然れども全部の砂糖製造事業を政府の獨占とするが如きことは、到底我國の現在に照し之を實行し得ざるものと認む。

(六)　砂糖の專賣に付ては前記各號の外尙左の缺點あること。

(イ)　專賣實施に因り獨占事業の通弊として、勢ひ事業の改良又は發達を遲緩せしむるに至るの虞あり。

(ロ)　他に競爭者なき爲自然に砂糖の品質劣下するの虞あり。

(ハ)　營業補償交付金等に關し一時に多額の公債を發行するに因り、自然一般公債價格にも影響を及ぼすに至り、公債政策上の不利を誘起するの虞あり。

(ニ)　外國に於て各種の專賣制度の增加に對し之を非難する者は、專賣の實施に際し政治的運動行はれ、又元賣捌人·小賣人の指定等に關しても之を政治的勢力に利用せらるること多くして遂に幾多の弊害を醸成し、又收拾すべからざるに至るべしと爲せり。故に我國に於ても專賣制度の增加に付ては多少此の間の諸點に付考慮を拂ふの要ありと認む。

要するに砂糖專賣第一案は我國の現狀に照し財政上の收入比較的多からず、且現行消費稅制度に比し專賣を利とする點よりも、寧ろ之を不利とするの點に重きを置かざるべからざるものと認めらるるが故に、之に對し巨額の資本を投下して此の際專賣を斷行するが如きは不可なりと認む。若し夫れ專賣の利益として揭げられたる生產費の節約若は價格の調節の如きに至りては、必しも專賣を待つの要なく、別箇の方法に依り之を行ひ得べしと認む。

第二案（本案も内地を目的とするものにして、臺灣・朝鮮等に於ては專賣を施行すると否とを問はざるものとす）

（一）粗糖及精糖共免許を與へて民間に製造せしめ、粗糖は全部政府に收納して一部は粗糖の儘消費用として賣下げ、一部は之を精製糖業者に賣下げ、精製糖の製造を爲さしめ、之を政府に收納して一般に賣下ぐること。

（二）內地に必要なる砂糖に付ては臺灣・朝鮮又は外國より之を購買すること。

（三）粗糖の買上及購買金額は內地・臺灣共各其の生產費に百分の十の利益を加へたるものとすること。

（四）精製糖の原料用粗糖は大體粗糖の收納價格に、政府が收納保管中の實費として百分の一を加へたる特別定價を以て賣下ぐること。

（五）精製糖の賠償金額は原料粗糖の特別定價賣下價格に、精製に要する生產費及百分の五の利益を加へたるものに依ること。

（六）少くとも專賣施行の際は砂糖の市場價格を騰貴せしめざることを目的とし、專賣後の賣下價格は最近の市場卸賣價格を標準とすること。但し元賣捌人に賣渡す價格は其の手數料として百分の五を控除すること。

（七）輸出糖移出糖及酒精又は煉乳の原料となるべき砂糖は、前號の價格より現行消費稅相當額を控除したる特別定價を以て賣下ぐること。

（八）賣下に付ては現在の地方專賣局其の出張所及新設出張所に於て、大體全國一樣の價格を以て元賣捌人に賣渡すこと。尙砂糖の製造地又は移入地より此等販賣官署迄送付する運賃は政府に於て支辨すること。

（九）專賣官署以外の賣捌機關として元賣捌人及小賣人を指定すること。而して其の販賣價格に付ては一定の制限を附し、全國大體同一なることを期すること。

（十）砂糖專賣實施に付ては現在の各專賣官署を利用すべきも、收納・回送・販賣等の爲必要なる地方には相當の官署を新設すること。

（十一）砂糖の買上及販賣の爲に主要なる地點に限り倉庫上屋を設くるものとす。而して其の他の地方に在りては少くとも當分の間は成るべく民間の倉庫を利用すること。

（十二）砂糖の卸賣業者に對しては專賣の實施後成るべく元賣捌人に指定し、從て此等に對しては失業交付金を交付せざること。但し其の指定を受けざる者に對しては失業交付金として國債を發行し、額面百圓に付九十五圓の割合を以て計算交付すること。

本案を可とする事由

（一）第一案に於けるが如く重要なる民業を奪ふことなし。從つて精製糖業者に對する營業場の買收及營業補償金を要せず、爲に第一案に比し國債負擔を減少するの利あり。

本案は販賣のみを官營とするものなるが故に、第一案の如く現在の重要なる民業を奪ふの弊なきこと。

（二）砂糖製造業者は官營の結果比較的薄利となるべきも、其の事業の基礎は專賣の爲に鞏固となること。

砂糖は世界的貨物なるが故に、甘蔗作付の豐凶及外國糖生產額の過不足に因るの關係は直に內

地の糖價に影響を及ぼし、爲に精糖業者は時に或は意外の利益を占むることありと雖、場合に依りては非常に損失を被ることも亦少からず。然れども政府の專賣となりたる曉に於ては、民營の場合に比し若干薄利となるべきも、相當利益を包容する確實なる賠償價格を以て必ず買上げらるるが故に、却て其の事業の基礎を鞏固ならしむるの利あり。

（三）其の他第一案に付き專賣の利點として揭げたる第一、二、五の諸點は、本案にも共通なる利點なりとす。

本案を否とする事由

（一）生產費の節約を期し得ざること。

本案は砂糖の製造を官營とせざるが故に、事業を統一し其の結果に依る生產費の節約を期するに由なし。

（二）其の他第一案に付專賣を否とする理由として揭げたる第四の輸出貿易に不便なる點、及第五、六に揭げたる諸點は本案にも亦共通の諸點なりとす。

要するに本案も亦歲入の增加比較的大ならざるのみならず、却て專賣の爲に輸出貿易の發展を妨ぐる等、諸種の點に於て不利と認めらるる所尠からざるを以て、實行の價値なきものと認む。

第三案

內地及臺灣等に於ける糖業を一團と爲して專賣を實施し、含蜜粗糖（黑糖、白下糖等）に限り免許を與へて民間に製造せしめ、其の製造せられたるものは全部政府に買上げたる後一般に賣下げ、又分蜜粗糖（主として臺灣產蔗）及精製糖の製造に付ては總て之を政府の獨占と爲し、其の製造したる分蜜粗糖の一部は消費用として之を賣下げ、一部は政府自ら之を精製して賣下ぐること。

此の案に依るときは、從來臺灣及內地に於ける糖業者の擧げ得たる企業利益を政府に於て取得し得べく、從て國庫收入の點より見れば大に有望なる方法なるが如しと雖も、翻て內容を觀るときは、內地に於て分蜜粗糖を製造する者は沖繩縣に於ける臺南製糖株式會社及東洋製糖株式會社の二會社を除くの外、悉く臺灣に在るが故に、一般會計の收入を增加すること極めて少く、主として臺灣總督府特別會計の收入問題に歸著すべし。假りに臺灣特別會計に於て之を實行するも、製糖業の設備を時價にて買上ぐるものとせば、其の金額多額に上り、之に要する利子丈にても巨額に達し、製造官營益金として殘す所餘り多きを望み得ざるべし。兎に角右は臺灣の問題として研究すべきものにして、本會に於ける調査の目的は內地に於ける砂糖消費稅に代はるべき歲入として、專賣の可否を研究せむとするに在るを以て、本案に付ては深く研究を爲すの要なしと認む。

# 附錄第三　專賣局特別會計歲入歲出決算額累年表

明治三十一年一月一日以降葉煙草專賣法實施せられたるが、其の事務は當初大藏省主稅局之を掌り、從て其の歲入歲出は一般會計所屬とし、唯葉煙草專賣資金に就てのみ特別會計を設けて之を經理したり。而して同年十月新に專賣局設置せられ、葉煙草專賣事務を管掌するに至りしも、尙ほ其の歲計は一般會計より獨立せざりしが、翌三十二年三月作業會計法に改正を加へ、三十三年度以降專賣局を作業所の一として同法に依り其の會計を經理することと爲すに及び、玆に始めて專賣局の歲入歲

## 專賣局特別會計歲入歲出決算額累年表

計設置以後に於ける本特別會計歲入歲出の決算額を科目別に表示すれば左の如し。

| 科目 | 製造煙草賣拂代 | 煙草賣拂代 | 煙草賣拂代 | 

| 科目 | 作業収入 | 材料費 | 事業品購買費 | 素材購買費 | 素材賃借及購買費 | 製造賃借及購買費 | 賃借及購買費 | 賃借及購買費 | 

| 目 | 科 | 作業収入 | 雇人給料 | 職工賃金 | 材料費 | 事務所及倉庫賃 | 雑費 | 犯則者罰金収入 | 雑収入 | 小切手受渡手数料 | 辨償金収入 | 雑収入 | 受取利子 | 預金利子 | 雑収入 | 計 | 収入合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大正十年度 | | 三六、六四四円 | 三、四〇〇円 | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 |
| 同十一年度 | | 三六、六四四円 | 三、四〇〇円 | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 |
| 同十二年度 | | 三六、六四四円 | 三、四〇〇円 | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 |
| 同十三年度 | | 三六、六四四円 | 三、四〇〇円 | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 |
| 同十四年度 | | 三六、六四四円 | 三、四〇〇円 | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 |
| 昭和元年度 | | 三六、六四四円 | 三、四〇〇円 | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 |

| 目 | 科 | 材料費 | 事業品賃 | 雇人給料 | 職工賃金 | 事務所及倉庫賃 | 雑費 | 製造品賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 計 | 支出合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大正十年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十一年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十二年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十三年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十四年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 昭和元年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |

事業報告書

| 目 | 科 | 材料費 | 事業品賃 | 雇人給料 | 職工賃金 | 事務所及倉庫賃 | 雑費 | 製造品賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 計 | 支出合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大正十年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十一年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十二年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十三年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十四年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 昭和元年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |



事業報告書

| 目 | 科 | 材料費 | 事業品賃 | 雇人給料 | 職工賃金 | 事務所及倉庫賃 | 雑費 | 製造品賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 棟梁賠償及購買 | 雑収入 | 計 | 支出合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大正十年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十一年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十二年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十三年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 同十四年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |
| 昭和元年度 | | 三、三六六円 | 三、三六六円 | 三、四〇〇円 | 三六、六四四円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 四八、〇〇〇円 | 三、三六六円 | 三六、六四四円 |

| 歳出合計 | 機密費 | 諸支出金 | 鹽交付金 | 樟腦及樟腦油補償金 |
|---|---|---|---|---|
| 四八、一三二、三九四 | 二、〇〇〇 | 四〇、〇五三 | 六六四、四三四 | 四、七九六、六三一円 |
| 一六三、二四二、三三五 | 二、三三七 | 三九、一五七 | 七七四、三〇二 | 二、五六〇、一八五円 |
| 一五三、六〇、八五八 | 一、七〇七 | 三七、四一一 | 六七二、一三五 | 二、四三一、一九六円 |
| 一六三、八一〇、六一〇 | 一、七三五 | 二六、五八〇 | 八四三、三五一 | 五、〇八一、六三六円 |
| 一六五、六八七、二七七 | 一、七三五 | 一、七三五 | 八四三、三五一 | 五、〇八一、六三六円 |
| 一六〇、六三八、六三三 | 一、六〇〇 | 八六、一七三 | 八六、一七三 | 五、六一五、三〇一円 |

第七編　專賣（下）

（備考）一、圓位以下切捨とす。

二、明治三十三年度歳出中葉煙草賠償及購買費には前年度繰越に係る葉煙草賠償費一四四圓を含む。

三、明治三十四年度歳出中營繕費には前年度繰越に係る修繕費四六四圓を含む。

四、科目は必ずしも決算書に即せず、其の重要性に從ひて或は項に止め或は目を掲ぐ。

# 附表　昭和元年度專賣局事業實

| 地方局工場出張所名 | 所轄 | 面積 方里 | 世帶數 戶 | 人口 人 | 煙草耕作段別 町 | 煙草耕作人員 人 | 葉煙草收納高 貫 | 煙草製造高 刻紙巻 千本 | 煙草製造高 葉巻 千本 | 煙草製造職工人員 男 人 | 煙草製造職工人員 女 人 | 煙草賣捌高 刻紙巻 千本 | 煙草賣捌高 葉巻 千本 | 煙草賣捌人 元賣 人 | 煙草賣捌人 小賣 人 | 製造段 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 本局 | 直轄 | | | | 八四 | 一、五六六 | 三〇、九〇一 | | | | | | | | | |
| 板橋製煙試験所 | 直轄 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中央研究所 | 直轄 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 秦野試験所 | 直轄 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三田屑煙試験所 | 直轄 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東京 | 直轄 | 一九七 | 一、三七一、一七一 | 六、五六四、七六八 | 八四 | 一、五六六 | 三〇、九〇一 | 二三五、二四二 | 一、九〇一、五六〇 | 四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 芝工場 | 直轄 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 淀橋工場 | 横濱 | 四九 | 二、二一三、一四三 | 九六四、一九五 | 一、三五 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 秦野 | 横濱 | 一三五 | 三、一三五、八四九 | 一、三六一、九三五 | 三、一四一 | 一、三六九、八四九 | 三三、九〇三 | 一、九〇一、五六〇 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 田原 | 横濱 | 三一 | 九六、八四九 | 三一二、九〇三 | 二、七一一 | 三、五九六 | 三一四、六四九 | | | | | | | | | |
| 佐野 | 横濱 | 一三五 | 三一、八四三 | 一四一、三五〇 | 一、四二三 | 一、九六八 | 一四、三四〇 | | | | | | | | | |
| 岩槻 | 横濱 | 一三五 | 三一、八四三 | 一四一、三五〇 | 一、四二三 | 一、九六八 | 一四、三四〇 | | | | | | | | | |
| 府中 | 横濱 | 二八三 | 一一二、八七三 | 六〇、三八五 | 一、四二三 | 一、九六八 | 一四、三四〇 | | | | | | | | | |
| 甲府 | 横濱 | 二八三 | 一一二、八七三 | 六〇、三八五 | 一、四二三 | 一、九六八 | 一四、三四〇 | | | | | | | | | |
| 富士 | 横濱 | 一、三四七 | 二、〇四〇、三三八 | 一〇、三五二、一四〇 | 三、一四一 | 三、五九六 | 三一四、六四九 | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水戸 | 直轄 | 一九七 | 一、一五一、一四一 | 九、四一八、一四一 | 七〇、六七一 | 四、八九九 | 六、三八一 | 一、九〇一、五六〇 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 石大田子 | 横濱 | 二二五 | 一、一四一、一四一 | 九、四一八、一四一 | 七〇、六七一 | 四、八九九 | 六、三八一 | | | | | | | | | |
| 太大田子 | 横濱 | 三五 | 一、一四一、一四一 | 九、四一八、一四一 | 七〇、六七一 | 四、八九九 | 六、三八一 | | | | | | | | | |
| 岡子 | 横濱 | 六八 | 二、一九一、八一六 | 一八、五四九、一四一 | 一四一、三五〇 | 九、三八一 | 一二、六八一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 二九六 | 二、三四八、一四一 | 一八、五四九、一四一 | 一四一、三五〇 | 九、三八一 | 一二、六八一 | | | | | | | | | |
| 宇都宮 | 直轄 | 一、四四七 | 八六、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 沼田 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 岡本 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 茂呂 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 川原 | 横濱 | 一五 | 六四、八四九 | 二五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 山頭 | 横濱 | 一五 | 六四、八四九 | 二五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 馬頭 | 横濱 | 一五 | 六四、八四九 | 二五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 田原 | 横濱 | 一五 | 六四、八四九 | 二五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 黒磯 | 横濱 | 七三 | 三〇、六三一 | 一二五、八四九 | 五七一 | 二、四九七 | 三八、九一一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 一、四四七 | 八六、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 高崎 | 直轄 | 八六 | 三、六三一 | 一四、八四九 | 七一 | 三、四九七 | 三八、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 新長 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 小江 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 二、二九一 | 九七、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 松本 | 直轄 | 九五三 | 三九、三四九 | 一五二、八四九 | 七六一 | 三、四九七 | 三八、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 新潟 | 横濱 | 九八 | 四〇、六三一 | 一五九、八四九 | 七九一 | 三、四九七 | 三八、九一一 | | | | | | | | | |
| 岡津 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 川江 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 雲津 | 横濱 | 九八 | 四〇、六三一 | 一五九、八四九 | 七九一 | 三、四九七 | 三八、九一一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 二、二九一 | 九七、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 二本松 | 直轄 | 八六 | 三、六三一 | 一四、八四九 | 七一 | 三、四九七 | 三八、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 若松 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 須賀川 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 石川 | 横濱 | 一七 | 七〇、六三一 | 三五九、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 三春 | 横濱 | 一三 | 五六、三四九 | 二八九、八四九 | 一、四二三 | 一、九六八 | 一四、三四〇 | | | | | | | | | |
| 常葉 | 横濱 | 一三 | 五六、三四九 | 二八九、八四九 | 一、四二三 | 一、九六八 | 一四、三四〇 | | | | | | | | | |
| 小野新町 | 横濱 | 六八 | 二八、三四九 | 一四四、八四九 | 五七一 | 一、九六八 | 一四、三四〇 | | | | | | | | | |
| 計 | | 一、四一七 | 六〇、三四九 | 三〇九、八四九 | 一、二九三 | 四、四六八 | 三二、四〇一 | | | | | | | | | |
| 郡山 | 直轄 | 一七 | 七、一一一、一四一 | 三六、八四九 | 一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 小野新町 | 横濱 | 一七 | 七、一一一、一四一 | 三六、八四九 | 一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 三四 | 一四、二二二、二八二 | 七三、六九八 | 二八六 | 一一、七九四 | 一六一、八二三 | | | | | | | | | |
| 仙臺 | 直轄 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 大迫 | 横濱 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | | | | | | | | | |
| 千葉 | 横濱 | 二〇二 | 八、三四九 | 三六、八四九 | 一六三 | 六五七 | 五二、四〇一 | | | | | | | | | |
| 青森 | 横濱 | 一四五 | 六〇、三四九 | 二六五、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 形見 | 横濱 | 一九一 | 七九、三四九 | 三四九、八四九 | 一、五〇三 | 六、四九七 | 四八、九一一 | | | | | | | | | |
| 森田 | 横濱 | 一四五 | 六〇、三四九 | 二六五、八四九 | 一、一四三 | 五、八九七 | 八〇八、九一一 | | | | | | | | | |
| 根崎 | 横濱 | 二四三 | 一〇一、三四九 | 四四五、八四九 | 一、九五三 | 八、四九七 | 六八、九一一 | | | | | | | | | |
| 酒田 | 横濱 | 二四三 | 一〇一、三四九 | 四四五、八四九 | 一、九五三 | 八、四九七 | 六八、九一一 | | | | | | | | | |
| 土崎 | 横濱 | 四、一〇七 | 一七五、三四九 | 七六五、八四九 | 三、四一三 | 一四、四九七 | 一一四、九一一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 二、三四〇 | 九七、五三一 | 四二六、八四九 | 一、九〇三 | 八、二四九 | 六五、四〇一 | | | | | | | | | |
| 函館 | 直轄 | 一、一七九 | 四九、一四一 | 二一四、八四九 | 九五三 | 四、一四九 | 三三、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 小樽 | 横濱 | 一、一七九 | 四九、一四一 | 二一四、八四九 | 九五三 | 四、一四九 | 三三、九一一 | | | | | | | | | |
| 鋼路 | 横濱 | 一、一七九 | 四九、一四一 | 二一四、八四九 | 九五三 | 四、一四九 | 三三、九一一 | | | | | | | | | |
| 根室 | 横濱 | 二三七 | 九、八四九 | 四二、八四九 | 一九一 | 八三七 | 六、七九一 | | | | | | | | | |
| 標茶 | 横濱 | 二三七 | 九、八四九 | 四二、八四九 | 一九一 | 八三七 | 六、七九一 | | | | | | | | | |
| 太室 | 横濱 | 二三七 | 九、八四九 | 四二、八四九 | 一九一 | 八三七 | 六、七九一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 八、八六五 | 三六二、一四一 | 一五四、八四九 | 六九三 | 三〇、一四九 | 二四〇、九一一 | | | | | | | | | |
| 名古屋 | 直轄 | 一九七 | 一、三七一、一七一 | 六、五六四、七六八 | 八四 | 一、五六六 | 三〇、九〇一 | 二三五、二四二 | 一、九〇一、五六〇 | 四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 豊橋 | 濱松 | 四四 | 一九七、一四一 | 八四、八四九 | 三四 | 一四九 | 一、一〇一 | 三、六八四、九一八 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 濱松 | 直轄 | 一九七 | 一、三七一、一七一 | 六、五六四、七六八 | 八四 | 一、五六六 | 三〇、九〇一 | 二三五、二四二 | 一、九〇一、五六〇 | 四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 四日市 | 濱松 | 一九七 | 一、三七一、一七一 | 六、五六四、七六八 | 八四 | 一、五六六 | 三〇、九〇一 | 二三五、二四二 | 一、九〇一、五六〇 | 四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 宇治山田 | 濱松 | 一九七 | 一、三七一、一七一 | 六、五六四、七六八 | 八四 | 一、五六六 | 三〇、九〇一 | 二三五、二四二 | 一、九〇一、五六〇 | 四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 彦根 | 濱松 | 二、三四〇 | 九七、五三一 | 四二六、八四九 | 一、九〇三 | 八、二四九 | 六五、四〇一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 計 | | 二、三四〇 | 九七、五三一 | 四二六、八四九 | 一、九〇三 | 八、二四九 | 六五、四〇一 | | | | | | | | | |
| 金澤 | 直轄 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 敦賀 | 濱松 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | | | | | | | | | |
| 富山 | 濱松 | 二〇二 | 八、三四九 | 三六、八四九 | 一六三 | 六五七 | 五二、四〇一 | | | | | | | | | |
| 伏木 | 濱松 | 二三七 | 九、八四九 | 四二、八四九 | 一九一 | 八三七 | 六、七九一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 二、四四四 | 一〇一、一四一 | 四三八、八四九 | 一、七六三 | 七、五四九 | 六〇、一〇一 | | | | | | | | | |
| 大阪 | 直轄 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | 二、三三二、三〇一 | 二、一〇〇 | 三四〇 | 一、六六九 | 六六五、八〇八 | 七一二、四〇三 | 三五 | 二六、四〇八 | |
| 京都工場 | 鶴濱 | 九六 | 四、〇一三、一四一 | 一七二、四〇九 | 七〇一 | 三、〇一三 | 二四、〇九一 | | | | | | | | | |
| 舞鶴 | 濱松 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | | | | | | | | | |
| 神戸 | 濱松 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | | | | | | | | | |
| 大豐 | 濱松 | 七六 | 三一、八四九 | 一三六、八四九 | 五四九 | 二、二四九 | 一八、〇九一 | | | | | | | | | |
| 赤穗 | 濱松 | 八五 | 三五、六四九 | 一五二、八四九 | 六一三 | 二、四九七 | 二〇、一四一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 一、四九九 | 六二、一四一 | 二六八、四〇九 | 一、〇七九 | 四、四一三 | 三五、二四一 | | | | | | | | | |
| 直轄 | | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | | | | | | | | | |
| 熊本 | 濱松 | 一、一〇七 | 四五、一五三 | 一九九、一四一 | 八六一 | 三四、四九七 | 二七四、九一一 | | | | | | | | | |
| 福井 | 濱松 | 一九八 | 八、一四九 | 三四、一四九 | 一五三 | 六二五 | 四、九一一 | | | | | | | | | |
| 敷山 | 濱松 | 一九八 | 八、一四九 | 三四、一四九 | 一五三 | 六二五 | 四、九一一 | | | | | | | | | |
| 計 | | 二、四一三 | 一〇一、四一三 | 四三八、四〇九 | 一、七六三 | 七、五四九 | 六〇、一〇一 | | | | | | | | | |

総

| 区分 | 鳥取 | | | 島根 | | | 岡山 | | | 広島 | | | 山口 | | | 徳島 | | | 香川 | | | 愛媛 | | | 高知 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 鳥取市 | 倉吉市 | 計 | 松江市 | 浜田市 | 計 | 岡山市 | 倉敷市 | 計 | 広島市 | 呉市 | 計 | 下関市 | 宇部市 | 計 | 徳島市 | 鳴門市 | 計 | 高松市 | 丸亀市 | 計 | 松山市 | 今治市 | 計 | 高知市 | 安芸市 | 計 |
| 人口 | 一四二、七〇〇 | 四九、〇〇〇 | 一九一、七〇〇 | 一四六、〇〇〇 | 四三、〇〇〇 | 一八九、〇〇〇 | 二七二、〇〇〇 | 四四、〇〇〇 | 三一六、〇〇〇 | 四九二、〇〇〇 | 一〇四、〇〇〇 | 五九六、〇〇〇 | 二四三、〇〇〇 | 一六五、〇〇〇 | 四〇八、〇〇〇 | 一六五、〇〇〇 | 四二、〇〇〇 | 二〇七、〇〇〇 | 一九六、〇〇〇 | 四二、〇〇〇 | 二三八、〇〇〇 | 二五六、〇〇〇 | 四二、〇〇〇 | 二九八、〇〇〇 | 一四二、〇〇〇 | 一四、〇〇〇 | 一五六、〇〇〇 |
| 人口密度 | 一四二 | 一〇一 | 一三二 | 一〇一 | 一〇〇 | 一〇一 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 面積 | 一、〇〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 一、八〇〇、〇〇 | 二、七〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 三、一〇〇、〇〇 | 四、九〇〇、〇〇 | 一、〇〇〇、〇〇 | 五、九〇〇、〇〇 | 二、四〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四、〇〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇 | 一、九〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、三〇〇、〇〇 | 二、五〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、九〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 一〇〇、〇〇 | 一、五〇〇、〇〇 |
| 人口増減 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 四、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 五、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 |
| 人口増減率 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 |
| 人口 | 一、一〇〇 | 五〇〇 | 一、六〇〇 | 一、四〇〇 | 五〇〇 | 一、九〇〇 | 二、七〇〇 | 五〇〇 | 三、二〇〇 | 四、九〇〇 | 一、〇〇〇 | 五、九〇〇 | 二、四〇〇 | 一、六〇〇 | 四、〇〇〇 | 一、六〇〇 | 五〇〇 | 二、一〇〇 | 一、九〇〇 | 五〇〇 | 二、四〇〇 | 二、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、四〇〇 | 一〇〇 | 一、五〇〇 |
| 人口密度 | 一四二 | 一〇一 | 一三二 | 一〇一 | 一〇〇 | 一〇一 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 面積 | 一、〇〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 一、八〇〇、〇〇 | 二、七〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 三、一〇〇、〇〇 | 四、九〇〇、〇〇 | 一、〇〇〇、〇〇 | 五、九〇〇、〇〇 | 二、四〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四、〇〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇 | 一、九〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、三〇〇、〇〇 | 二、五〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、九〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 一〇〇、〇〇 | 一、五〇〇、〇〇 |
| 人口増減 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 四、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 五、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 |
| 人口増減率 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 |
| 人口 | 一、一〇〇 | 五〇〇 | 一、六〇〇 | 一、四〇〇 | 五〇〇 | 一、九〇〇 | 二、七〇〇 | 五〇〇 | 三、二〇〇 | 四、九〇〇 | 一、〇〇〇 | 五、九〇〇 | 二、四〇〇 | 一、六〇〇 | 四、〇〇〇 | 一、六〇〇 | 五〇〇 | 二、一〇〇 | 一、九〇〇 | 五〇〇 | 二、四〇〇 | 二、五〇〇 | 五〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、四〇〇 | 一〇〇 | 一、五〇〇 |
| 人口密度 | 一四二 | 一〇一 | 一三二 | 一〇一 | 一〇〇 | 一〇一 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 面積 | 一、〇〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 一、八〇〇、〇〇 | 二、七〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 三、一〇〇、〇〇 | 四、九〇〇、〇〇 | 一、〇〇〇、〇〇 | 五、九〇〇、〇〇 | 二、四〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四、〇〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇 | 一、九〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、三〇〇、〇〇 | 二、五〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、九〇〇、〇〇 | 一、四〇〇、〇〇 | 一〇〇、〇〇 | 一、五〇〇、〇〇 |
| 人口増減 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 四、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 五、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 |
| 人口増減率 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 |

| 区分 | 福岡 | | | 佐賀 | | | 長崎 | | | 熊本 | | | 大分 | | | 宮崎 | | | 鹿児島 | | | 沖縄 | | | 全国 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北九州市 | 大牟田市 | 計 | 佐賀市 | 唐津市 | 計 | 長崎市 | 佐世保市 | 計 | 熊本市 | 八代市 | 計 | 大分市 | 別府市 | 計 | 宮崎市 | 都城市 | 計 | 鹿児島市 | 鹿屋市 | 計 | 那覇市 | 沖縄市 | 計 | 市部 | 郡部 | 計 |
| 人口 | 一、〇六三、〇〇〇 | 一二〇、〇〇〇 | 一、一八三、〇〇〇 | 一七六、〇〇〇 | 四二、〇〇〇 | 二一八、〇〇〇 | 四五六、〇〇〇 | 二四三、〇〇〇 | 七〇〇、〇〇〇 | 五六二、〇〇〇 | 一三四、〇〇〇 | 六九六、〇〇〇 | 四五六、〇〇〇 | 一二六、〇〇〇 | 五八二、〇〇〇 | 三八六、〇〇〇 | 一〇一、〇〇〇 | 四八七、〇〇〇 | 四五六、〇〇〇 | 一〇五、〇〇〇 | 五六一、〇〇〇 | 三一〇、〇〇〇 | 一〇四、〇〇〇 | 四一四、〇〇〇 | 七、一〇〇、〇〇〇 | 一、一〇〇、〇〇〇 | 八、二〇〇、〇〇〇 |
| 人口密度 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 面積 | 一、〇〇〇、〇〇 | 一〇〇、〇〇 | 一、一〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇 | 四、二〇〇、〇〇 | 二、二〇〇、〇〇 | 六、四〇〇、〇〇 | 五、二〇〇、〇〇 | 一、二〇〇、〇〇 | 六、四〇〇、〇〇 | 四、二〇〇、〇〇 | 一、一〇〇、〇〇 | 五、三〇〇、〇〇 | 三、六〇〇、〇〇 | 九〇〇、〇〇 | 四、五〇〇、〇〇 | 四、二〇〇、〇〇 | 九〇〇、〇〇 | 五、一〇〇、〇〇 | 二、九〇〇、〇〇 | 九〇〇、〇〇 | 三、八〇〇、〇〇 | 六六、〇〇〇、〇〇 | 一〇、〇〇〇、〇〇 | 七六、〇〇〇、〇〇 |
| 人口増減 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一〇〇、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇 | 一一〇、〇〇〇 |
| 人口増減率 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、四 | 一、〇 | 一、三 |
| 人口 | 一、〇六三、〇〇〇 | 一二〇、〇〇〇 | 一、一八三、〇〇〇 | 一七六、〇〇〇 | 四二、〇〇〇 | 二一八、〇〇〇 | 四五六、〇〇〇 | 二四三、〇〇〇 | 七〇〇、〇〇〇 | 五六二、〇〇〇 | 一三四、〇〇〇 | 六九六、〇〇〇 | 四五六、〇〇〇 | 一二六、〇〇〇 | 五八二、〇〇〇 | 三八六、〇〇〇 | 一〇一、〇〇〇 | 四八七、〇〇〇 | 四五六、〇〇〇 | 一〇五、〇〇〇 | 五六一、〇〇〇 | 三一〇、〇〇〇 | 一〇四、〇〇〇 | 四一四、〇〇〇 | 七、一〇〇、〇〇〇 | 一、一〇〇、〇〇〇 | 八、二〇〇、〇〇〇 |
| 人口密度 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 面積 | 一、〇〇〇、〇〇 | 一〇〇、〇〇 | 一、一〇〇、〇〇 | 一、六〇〇、〇〇 | 四〇〇、〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇 | 四、二〇〇、〇〇 | 二、二〇〇、〇〇 | 六、四〇〇、〇〇 | 五、二〇〇、〇〇 | 一、二〇〇、〇〇 | 六、四〇〇、〇〇 | 四、二〇〇、〇〇 | 一、一〇〇、〇〇 | 五、三〇〇、〇〇 | 三、六〇〇、〇〇 | 九〇〇、〇〇 | 四、五〇〇、〇〇 | 四、二〇〇、〇〇 | 九〇〇、〇〇 | 五、一〇〇、〇〇 | 二、九〇〇、〇〇 | 九〇〇、〇〇 | 三、八〇〇、〇〇 | 六六、〇〇〇、〇〇 | 一〇、〇〇〇、〇〇 | 七六、〇〇〇、〇〇 |
| 人口増減 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 三、〇〇〇 | 一〇〇、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇 | 一一〇、〇〇〇 |
| 人口増減率 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、〇 | 一、四 | 一、〇 | 一、三 |

備考

(一) 国勢調査人口は昭和元年十月末日現在、その他の人口は昭和二年三月末日現在である。

(二) 総人口は第一次産業人口(農業人口及び水産業人口)、第二次産業人口(鉱業人口及び工業人口)、第三次産業人口(商業人口、交通業人口及び公務自由業人口)、その他の人口(家事使用人、無職及び分類不能の人口)の合計である。

(三) 第一次産業人口は第二次産業人口は第三次産業人口はそれぞれ総人口に対する百分率である。

(四) 表中※印は表頭の単位に満たざるものなり。

# 業績一覧表

| | | |

大藏省納本

昭和十二年一月二十六日　印刷
昭和十二年一月三十一日　發行

〔明治大正財政史第十卷奥附〕
——全二十卷ノ內——

# 大藏省編纂

著作權所有

發行元

東京市赤坂區田町七丁目三番地

財政經濟學會

明治大正財政史部振替東京一七〇八番
電話赤坂(48)三四〇・三四一番

印刷所

東京市牛込區榎町七番地

大日本印刷株式會社

榎町工場

發行兼印刷者

東京市赤坂區田町七丁目三番地

草村松雄

# 明治大正財政史（全二十卷）略目次


第一卷　第一編　總說
　　第二編　財政機關
第二卷（第二回配本）　第三編　會計制度
第三卷　第四編　歲計（上）
第四卷　第四編　歲計（中）
第五卷　第四編　歲計（下）
第六卷　第五編　內國稅（上）
第七卷　第五編　內國稅（下）
第八卷　第六編　關稅
第九卷（第三回配本）　第七編　專賣（上）
第十卷（第四回配本）　第七編　專賣（下）
第十一卷（第一回配本）　第八編　國債（上）
第十二卷　第八編　國債（下）
第十三卷　第九編　國庫金及資金運用
第十四卷　第十編　通貨
第十五卷　第十一編　銀行（上）
第十六卷　第十一編　銀行（下）
第十七卷　第十二編　金融
第十八卷　第十三編　外地財政
第十九卷　第十四編　雜纂
第二十卷　總目錄・索引
　　財政經濟年表